

令和5年度

丸岡組合事業報告

令和5年度の丸岡組合で行った事業報告です。2月3日(金)第67回通常総会を実施し、15名が参加しました。

3月30日(木)・31日(金)には保険証交換会を実施、8月27日(日)には、県連ブロック活性化事業の補助を受けて、丸岡城のまちコミュニティセンターで組合員6名が参加して木製イスづくり体験を実施しました。丸岡城の西側にあるお天守前公園で、午前9時からテント設置などの準備を始め、午前10時から午前10時、午後1時から午後12時、合計で22名が組合員と力を合わせて、楽しそうにイスづくりを行っていました。前日の午後からは、組合員7名がイスづくりの材料作成を行いました。

11月28日(火)・29日(水)には、「コロナ禍明けで5名と少数の参加でしたが、6年ぶりに1泊2日で富山県高岡、氷見方面への研修旅行を行うことができました。両日ともに雨模様の天気でしたが、隈研吾氏設計の富山市ガラス美術館や瑞龍寺、高岡大仏、高岡御車山会館などを見学し、北陸唯一のウイスキー蒸留所の若鶴酒造三郎丸蒸留

お互いに関わり合いを持つことなど組合として取り組んでいく課題だと思います。

丸岡組合通信員 高嶋 信博

所で試飲し、宿では、富山湾の生きのいい魚料理を満喫しました。残念なことには、毎年行っていた小学校や幼稚園、公民館の包丁研ぎ一日奉仕作業が、会場の都合が悪く実施することができませんでした。コロナ禍の影響があるのかもしれないませんが、年々組合行事への参加者が減っています。組合の一つの役割として、組合員同士のつながりを密にしておくことも重要な役割だと思えます。

今回の能登半島地震では、多くの方が建物の倒壊によって亡くなっています。建築に関わる者として、応急仮設住宅の建設だけではなく、地域での助け合いなど組合員のつながりを深めておくことで、スムーズに協力し合えることもあるはずだと組合員を増やしていきたいです。



毎年好評な継続事業のイスづくり

保険のプロが教える「私たちの保険」

保険の豆知識 25

前回までで自動車保険の説明はキリがついた。今回からは地震保険について掘り下げていきます。

その前に少し地震について見ていきます。令和6年元日に発生したマグニチュード7.6の「能登半島地震」。組合員の皆様は被害ありませんでしたか？このような大地震が日本海側で起こると思っていた人は少ないかも

前回は地震保険の説明はキリがついた。今回からは地震保険について掘り下げていきます。その前に少し地震について見ていきます。令和6年元日に発生したマグニチュード7.6の「能登半島地震」。組合員の皆様は被害ありませんでしたか？このような大地震が日本海側で起こると思っていた人は少ないかも

これは石川県を対岸の火事とは言えないかもしれない。大きな自然災害に遭われた人は、口を揃えたようにこう言います。「長い間ここに住んでいるがこんなこと初めて」。少し前置きが長くなりましたが次回からはこの地震に備える保険について説明していきます。

ファイナンシャルプランナー プランナー 損害保険トータルプランナー 二川 英徳

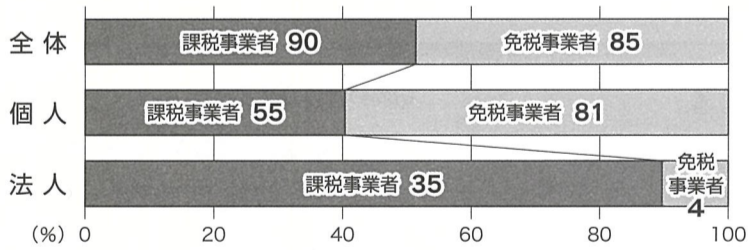
インボイス、県連事業についての会員アンケート調査報告

インボイス制度が始まり、会員のインボイス登録の動向、支援の必要性、あわせて今後の県連に望む事業・サービスについてお聞きしました。

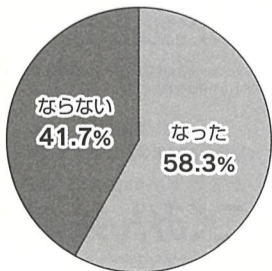
実施期間 2023年11月27日～12月15日 回答件数 186件(配付数 2,376件/回答率 7.83%)

※グラフの単位は、法人は社数、個人は件数です。

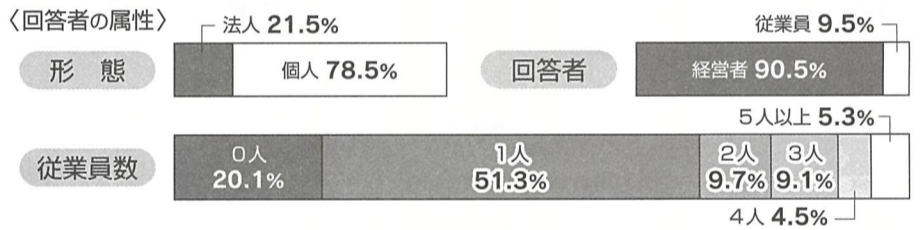
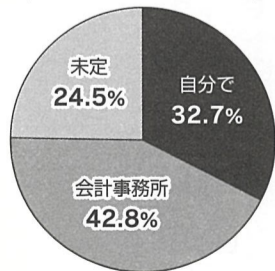
●インボイス制度開始前



●インボイス制度開始後に課税事業者となったか(開始前は免税事業者の方)



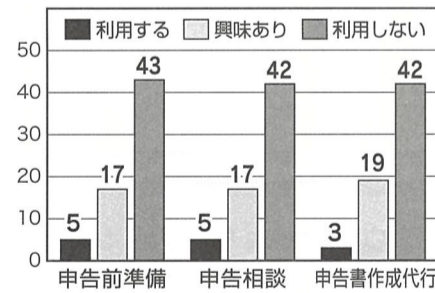
●消費税申告の方法(インボイス制度を機に課税事業者となった方)



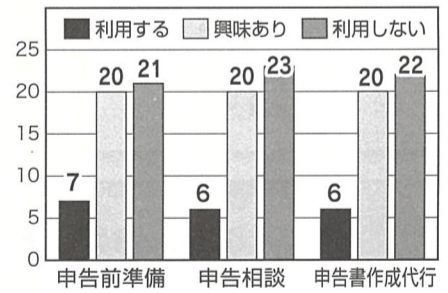
県連の申告支援の利用意向

インボイス時に課税事業者となった会員は、県連の申告支援に興味を持っている方が多いことがわかりました。

●従来からの課税事業者会員

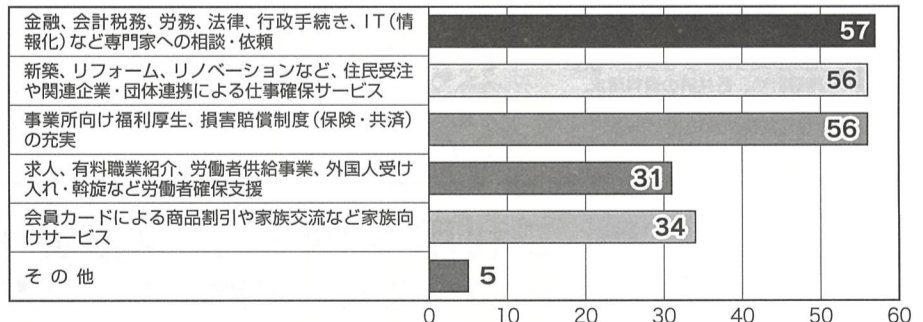


●インボイス時に課税事業者となった会員



必要な事業・サービス

今後の県連の事業・サービスについて、「専門家による相談・支援」「仕事確保」「福利厚生充実」など、幅広い事業を希望していることがわかりました。



能登半島七尾市で



1階、2階がつぶれた住宅

令和6年1月1日に石川県能登半島で、最大震度7の地震が発生しました。福井県でもかなりの揺れを感じました。危険を感じてテーブルの下に身を隠した人もいたと思います。能登地方では大変大きな被害を受けました。福井県の一部でも被害が出ました。

2月になり、石川県より福井県に災害ボランティアの派遣の要請があり、福井県から石川県七尾市へ災害ボランティアの参加者募集に応募しました。その結果、2月13日、14日、15日の3日間活動してきました。1日の簡単なタイムスケジュールを紹介します。

5時30分福井県立大学永平寺キャンパス出発、9時30分七尾市災害ボランティアセンター着、10時

から15時まで現地活動、15時30分七尾市出発、17時福井県立大学着。

3日間の活動内容と見たもの、感じたことをお伝えします。

1日目は、七尾市に到着後6名1組で依頼者のところに向き、地震により発生した大きなごみ、大量のごみをボランティアセンターが借り上げている災害廃棄物仮置場まで、軽トラックで運び入れる作業でした。貴

建具、家具、家電製品、食器、瓦などの建築廃材などありとあらゆるものが出てきました。なかにはコンクリートブロックもあつたのですが、倒れたブロック崩を見てみると、無筋もしくは申し訳程度しか鉄筋が入っていませんでした。また、手を洗わせていたどころ

と、お願いしたところ、上水道は復旧したのですが、宅内で漏水していて使えないとのことでした。午後に向った依頼者宅の前では、応急仮設住宅の建設が急ピッチで行われていました。

2日目は、前日搬入した仮置き場での活動でした。この仮置き場から七尾市が指定した産業廃棄物置場に移送するのですが、その置き場が11品目に分かれていて、分別してトラックに積み込む必要がありました。そこで、みんなで分けながら搬入されてくる廃棄物の荷下ろしを手伝う作業でした。

3日目は、前日活動した仮置き場を閉鎖すること

のことで、残っている廃棄物を移送し、仮置き場を清掃する作業でした。この災害復旧応援に全国から応援が入っています。七尾市災害ボランティアセンターは、近畿ブロックの各自治体の社会福祉協議会の職員で運営されています。また、行き帰りのバスから、多くの県外ナンバーの車や全国の自治体の公用車を見ました。

この災害の状況を見ると、これから益々ボランティア活動が必要になってくると思います。機会があれば、また活動に参加したいと思っています。

松岡組通信員 北川 純二

青いダイヤ

二月往ぬる二月逃げる三月去る」と昔から言われているように、あつという間に3月になってしまいました。

冬眠している訳ではないけれど、私にとっては暖かくなつてくると、全身のスイッチが入り「さあ、今年も仕事頑張ろう」と本格的に動きだす時期のような気がします。

私の作業場の前に梅畑があるのですが、つぼみ

が大きくなり、ちらほら花も見え始めました。春になったと実感できる風景です。

この梅の花に影響され

たのか分りませんが、つい先日、地元飲食店で梅酒を飲む機会があり美味しく頂きました。

私が住んでいる若狭町は昔から梅の栽培が盛んです。

現在は福井梅と呼ばれていますが、福井梅の栽培の歴史は古く、二百年近く前の江戸時代の天保年間、旧三方町伊良積で発祥したと伝えられています。

旧三方町西田地区の平太夫と助太夫の家にあつた梅の木が西田梅の発祥で、その屋号から、平太夫梅、助太夫梅と呼ば

本的に自助になる。家族内でも防災ミーティングをして、自身と家族の命は自分たちで守る思想を持ち、できることから、試しながら、訓練しながら、改善することがとても重要と話し、最後に質疑応答をして終了した。

今回の地震で、三国地区にも津波警報が鳴り、今までのない状況の中で避難となった。今回のことで課題も浮き彫りになったが、改善を繰り返して今後備えていくしかない。

昭和37年の酒税法の改正で梅酒ブームが起り、青梅は「青いダイヤ」と呼ばれ梅の栽培が推奨されました。

昭和42年に産地の更なる躍進を目指して、現在

の福井梅に名称変更されたという事です。

現在では福太夫、新平太夫という品種も加わり、福井県で生まれた梅4品種が栽培されています。

私にとって身近な梅ですが長い歴史があるのだと改めて実感しました。

これも偶然ですが、つい先日風邪をひき、のどが痛かったので家にある梅肉エキスを湯で溶かして飲みました。30年ぶりくらいでしょうか、こんなに長期保存できるのだと感心しました。

今年の梅の出来が気になりますが、天候に恵まれることを願っています。

三方組通信員 黒石 学

令和5年度 特別編 防災ミニ教室



坂井市三国町の三国地区まちづくり協議会は、毎年5回程度の防災ミニ教室を行っている。元日に起こつた令和6年能登半島地震を踏まえて、2月18日、三国コミュニ

ティセンターで防災ミニ教室の特別編が開催され、127名が参加した。

講師に福井工業大学まちづくりデザインセンターの竹田周平氏を招き、「地震・津波」の避難

をテーマに講演があつた。

能登半島地震で何が起つたのかの説明があり、今回の地震で揺れが長かったのは、2分間に4回連続で地震が発生したこととがわかつた。地震のエネルギーを表すマグニチュードはM7.6で、平成7年に発生した阪神淡路大震災の約2.8倍という数値を記録した。

避難所と避難場所の違いを知っているか、行政

まとめ、災害時は基



春の到来をつげる梅の花



伐採されても歴史を語りつなぐお館の棧

我が町のここが自慢

紹介 お館の棧

松平忠昌が没す
ると、遺領のう

今回紹介するのは、永平寺町松岡地区にある、70年ほどで幕を閉じた松岡藩の栄枯盛衰を知るヤブツバキです。樹齢350年、樹高6・3m、幹周り1・05mの樹形を見せていました。永平寺町指定の天然記念物として、樹木医のもと枯らさないよう保護活動を続けてきました。令和元年に惜しまれつつも、危険となつたので伐採され写真のような状況になっています。

正保2年(1645)越前福井藩第三代藩主の

松平忠昌が没す
ると、遺領のう
ち、足羽郡、吉田郡、坂井郡、今立郡、南条郡、大野郡の百八村、五万石が忠昌の側室の子であつた松平昌勝に分地され、新たな藩「松岡藩」が創設されました。ただし、格式としては城主格ではなかつたため、城の建築は許されず、藩主の居館・藩の政庁として陣屋(御館)が建てられました。

元禄6年(1693)昌勝が没し、三男の松平昌平が第二代藩主となりました。享保6年(1721)福井藩主松平吉邦の死没により、昌平が本藩福井藩を継ぐことになったため、松岡藩は本藩に併合され廃藩となり、藩庁であつた松岡陣屋も廃されました。今に残されているのが、初代藩主松平昌勝が愛したと伝えられる「お館の棧」です。

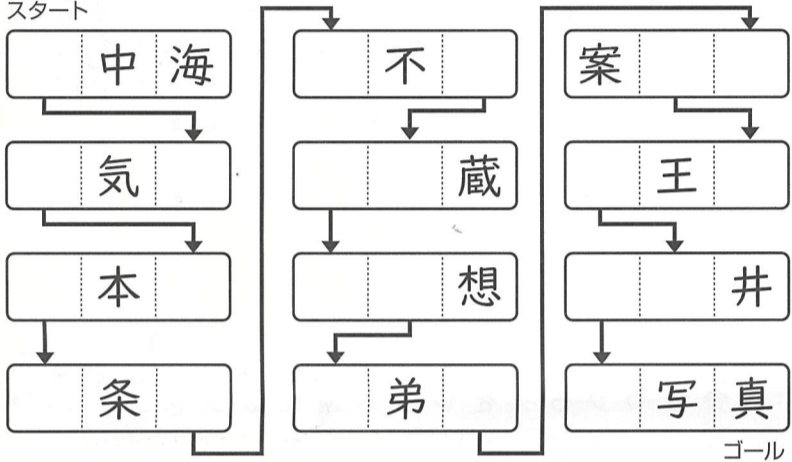
伐採された親木の横から2本の若木が成長し始めています。『お館』歴史を語り継いでいってくださりましょう。
松岡組合通信員
北川 純 二

第217回 福井県連の

クイズ

次の空欄に下のリストの漢字を入れ、三字熟語をつくりましょう。なお、矢印のある空欄には同じ漢字が入ります。

スタート



リスト 山尽十子地愛理意夜天不無六青

リストの中で使わなかった漢字を組み合わせると、三字熟語になるのでつくってみましょう。

答えをハガキに書いて令和6年5月24日迄に県連あてに送って下さい。
解答のハガキには、郵便番号・住所・氏名・年齢・組合名を記入して下さい。
答え □□□
Eメールからのご応募できます。
iinfo@kenchiku-fukui.com
県連のホームページ「お問い合わせ」からも送れます。件名に「福井県連のクイズ」と入力してください。
正解者の中より抽選で5名の方にクオカードを差し上げます。

第216回クイズ 答え 言語道断

当選者発表表(応募総数11通)

福井第一	古河	照子 様
勝	山	高島 栄三 様
清	水	眞田 雅幸 様
武	生	小倉 隆典 様
一般	山中	沙織 様

復興

私の持つて
いる砲の中に
「復興」と銘
が彫られた砲
がある。長さ
七寸幅一寸一
分あり刃は丸
く、丸く削れ
るようになって
いる。
どの時代に作られたか
分らないが、天災の後
職人がどうしても砲を作
らなければならぬとせ
かされて作ったと思われ
る。
天災から復興への願い
を込め、「復興」と彫っ
たのはと。
新年早々、能登半島地
震が発生して甚大な天災
に見舞われた。一言では
言い表せない。

私も能登へ行ったこと
がある。見るもの・聞く
もの・歴史のある建物、
日本の文化を語っている
能登である。
単に復興と2文字であ
るが、大変な仕事である。
石川県は日本の中央に
あり東と西と関わりが多
い地域である。
能登を再生していくた
めに道路・山・港・畑・村・
町などのアクセスを整え
て素晴らしい生活環境を
作ってほしい。
その中で能登の多様な
文化と歴史を全国に見せ
つけて初めて「復興した」
と言えると思う。道のり
は長いと思うができるこ
とから。

この学校も体育館で子供
たちが大声をあげて走り
回っていた。
大縄跳びをしてみんな
で声を掛け合ったりして
すごく楽しそうに、私の
心も晴れやかになった。
能登の被災した子供た
ちも心から大声が出る日
がくると思う。町の文化
や歴史など優れた遺産を
継いでくれると思う。
未来に晴れた日がくる
ことを願っている。



日之出5丁目から

▼正月の一日リラック
スしていた夕方でした。
▼突然携帯電話のア
ラームが鳴りテレビも
能登のライブカメラに
切り替わり、その後大
きな揺れが来ました。
▼長いなと思っていた
だけで、その時何の行
動もできないまま、た
だテレビの画面を見て
いるだけでした。
▼所々で土埃が上がる
のが見え、これは大変
なことになったなと感
じて、その後津波警報
が出され、大変な年の
初めになりました。
▼能登の地震は10年以
前より起こっていても
道路などライフライン
の脆弱さが改善されて
いなかったことが復旧
の遅れた原因と感じて
います。
▼昨今、スマホやドラ
イブレコーダーなど
色々な映像が見られる
ようになりましたが、
その中で、津波から逃
げている時に歩いてい
るおばあさんを見つ
て引き返して車に乗せ
て避難している映像に
感動しました。
▼もう海水が車の所ま
で押し寄せてきている
のに引き返されたこと
に感動をおぼえまし
た。
▼この映像を見た時、
これは能登や自分たち
のような、みんなが顔
見知りの田舎ならではの
ことで、都会では絶
対に起きないことだと
思い、若い時には、田
舎の人間関係の濃さが
うつつしい時もあり
たことも、今は何とな
くしつとりと居心地の
良さを感じている自分
を、あの映像により発
見しています。

新しい仲間		福井		福井		福井		福井	
春	足	福井第一	福井	坂川	高橋	由記	輝	25	25
江	羽	川村椋太郎	松川	飯田	喜之	50	46	35	35
白崎三千男	フレスウィング	松川	錠詰	直樹	喜之	24	50	46	35
渡邊和也	タドウラ	椋原	直樹	喜之	喜之	24	50	46	35
見澤	佳和	川村椋太郎	松川	飯田	喜之	24	50	46	35
47	39	72	23	22	32	24	50	46	35
才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
三		福	小	武	越	宮	勝	31	73
国	井	敦	生	生	丹	崎	山	73	25
長	林	賀	賀	賀	賀	賀	賀	25	29
谷	輝	北	向	向	向	向	向	29	29
川	己	井	井	井	井	井	井	29	29
雄	輝	直	文	文	文	文	文	31	73
幸	己	斗	夫	夫	夫	夫	夫	31	73
92	68	才	才	才	才	才	才	才	才
才	才	才	才	才	才	才	才	才	才

謹んで、ご冥福を
お祈り申し上げます